

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第9回「“がん哲学”の発想 ～ 今 日本に 必要な こととは ～」

コロナ時代、ノーベル賞作家 カミュ 著『ペスト』(1947年)が 思い出される。
『一つの時代は去り、次の時代が来る。しかし 地はいつまでも 変わらない。
日は上り、日は沈み、また もとの上る所に 帰って行く。—— 川は みな海に
流れ込むが、海は 満ちることがない。——』(伝道者の書 1章 4-7 節) ま
さに、ヘミングウェイの小説『日はまた昇る』である。「地の続くかぎり、種
蒔きと刈り入れ、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜とは、やむことはない。」(創
世記 8章 22節)が、蘇る日々である。

「勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来」代表の薬剤師から、「薬剤師向け ZOOM
授業に 講師して いただけないでしょうか? 産婦人科講座 緩和ケア講座
在宅DI 講座などを 組み始めました。」との依頼を受けた(下図)。タイトル
は『歴史と偉大なる人材を 受け継ぐ“がん哲学”の発想 ～ 今 日本に必要な こと
とは ～』とのことである。感服した。今日は、順天堂大学保健医療学部で、
「病理学概論」、「がん医療科学」の Zoom 授業である。

勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来

メデイカルCafé

下記内容にてオンライン研修(ZOOMによるWeb開催)を開催いたします。
興味関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

(NPO法人HAPはZOOMコンサルティング会社と提携して安全確保に努めた形式での開催を考えています)



令和2年7月6日(月)

19:15~20:45

講師：樋野興夫先生

(一般社団法人がん哲学外来 理事長/順天堂大学 名誉教授)

ナビゲーター：宮原富士子

(勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来 主宰・NPO法人HAP)

内 容

19:00~	開室
19:15~	ナビゲーター宮原より活動の紹介と樋野先生紹介 がん哲学、営業の処方箋が日本を救う
19:30~	歴史と偉大なる人材を受け継ぐ“がん哲学”の発想 “今日本に必要なこととは” / 樋野興夫先生
講話終了後	クロストークと放課後トーク
20:45	終了

参加費：浅草かんわネットワーク研究会・HAP 会員1,000円・非会員1,500円

・HAP主催のすべてのオンライン講座で使えるチケット回数券(500円×11枚綴り=5,000円)のご利用も可能です。
(会員・非会員に限らずご利用頂けます)。

対 象：薬剤師(地域の医療介護職等関係者の参加は歓迎)

申込締め切り：開催日の1週間前まで
どうしても間に合わなかった場合は
myanko@vividlady.com に連絡ください。

主催：勝海舟記念 下町(浅草)がん哲学外来